

12・12京大集会へ!

全学連(斎藤郁真委員長) 書記局通信

2016年11月22日

No.425

Tel 03-3651-4861

mail_cn001@zengakuren.jp

http://www.zengakuren.jp/

京大・金元重さん講演会が大成功!

11月20日、京都大学11月祭での企画として千葉商科大学教授・金元重先生をお呼びして講演会を行いました。11・12民衆総決起闘争を受けて、タイトルは「朝鮮半島で革命が始まっている」です。

講演会は民衆総決起闘争当日の映像をまとめた映像上映で幕を開けました。報道資料などをふんだんにとりいれ、闘いの大きさが客観的にも明らかになるとともに、ハン・サンギョン委員長の獄中メッセージが代読される場面や訪韓団が熱烈に歓迎されるシーンなど見る者の心を揺さぶるものでした。

映像上映の熱気を引き継ぎ、すぐさま金先生の講演会に。金先生は自己紹介ののち「マスコミでは報じられていないが、11月12日100万人をこえる人々が立ち上がった裏側には民主労総のゼネストがある」とし、講演会の大半をハン・サンギョン執行部が成立して以来の民主労総の激闘に費やしました。そして最後に、「機動隊の車壁の克服と大統領府・青瓦台への進行が問題になっている」と語るとともに、ゼネストの階級的意義について力強く訴えました。

引き続いて登場した作部羊平同学会委員長は「訪韓闘争によって革命のリアリズムを掴んだ。日本で



も絶対にゼネストを実現する」と確信も固く訪韓報告を行いました。

質疑応答では「パククネ政権の危機は財閥に見限られたからでは?」「青瓦台への突入などではなく、デモの形態転換で対応すべきでは?」という質問に対し、支配階級内部で起きてきたパククネ退陣を求める機運がその都度つぶされてきたこと、民主労総の先制的ゼネストが情勢を切り開いてきたこと、そして「パククネ打倒なき大集会などは『壮大なゼロ』。青瓦台への進行含めて今こそ運動の発展を勝ちとるべき」など金先生と聴衆の間で熱のこもった討論が行われました。

当日会場には多くの飛び入りの京大生、韓国からの留学生、市民の方含め50人が結集。韓国—朝鮮革命にむけての民主労総ゼネストの新段階への突入、そしてその圧殺をかけた朝鮮戦争の切迫を前にきわめて意義深い企画として成功しました。

この企画の成功をもって、処分撤回署名年内3万筆達成、12・12京大集会の大成功にむけて全力を挙げます!(マル学同京大支部・A)



訪韓闘争の感想③

訪韓闘争に参加し改めて闘う労働組合とゼネストの力を実感しました。日本の報道では12日の民衆総決起大会であり、この間の韓国人民の闘いが、チェ・スンシル問題で突如爆発したかのように取り上げています。労組や、ゼネストの話も一切ありません。しかし真実は全く違います。ソウルで12日に行われた民衆総決起大会は、闘う労働組合のナショナルセンターである民主労総が中心となって行われました。

デモ前の集会では、参加者が多すぎて、会場に入りきれない為、路上に座り込んで参加しました。会場に組合旗が林立する中、現場の労働者により現下の鉄道労組を中心とするゼネストが報告され、歓声が上がりました。また不当逮捕されたハンサンギョン委員長のメッセージの代読や、虐殺されたペクナムギ烈士の遺族の発言もあり、国家権力であり、警察権力との非和解性が打ち出されました。

そして集会の基調もチェ・スンシル問題だけでなく、成果退出制度や、セウォル号事故、サード配備等への抗議など、新自由主義と戦争にのめり込む政府をあらゆる面から弾劾し、労働者が主人公の新しい社会を展望するものでした。最後には、民主労総のチェ・ジョンジン委員長代行が「11月中により一層強力なゼネストを！」と呼びかけ、会場全体が熱気に包まれました。集会の高揚は、そのままデモに引き継がれ、百万を超える人民がデモ隊に参加しました。そのあまりの勢いに警察権力は一指も触れる事が出来ず、青瓦台にまで引いていき、ソウルの中心街は完全に解放区と化しました。

また高校生、大学生がクラス単位で大量に決起しており、中には朴正熙の軍事クーデターによって潰えた60年の革命を、今度こそ完成させようと呼びかけている学生達もいました。多くの人々が、日本から来た私たちを手を振って歓迎してくれ、話になれば必ずパククネは勿論、安倍との怒りを共有する事ができたのも印象的でした。日韓合意の強行や、G S O M I A 締結を狙って朝鮮戦争危機を深める日韓両政府に対する韓国人民の怒りと、全学連の訴える朝鮮戦争阻止と自国政府打倒の国際連帯が、ストレートに結びついたのだと思います。このようにゼネストを闘う労働組合が軸となり、政権打倒と社会変革を呼びかけた事で、12日の行動はこれまでと桁

違いの規模で爆発しました。そのうねりは職場、学園に持ち帰られ、11月30日に呼びかけられている大ゼネストとなって、更なる闘いに発展しようとしています。

私たちもこのゼネストに連帯し、11月30日は安倍・パククネ打倒の大デモを行いましょう。そして連合や全労連等の闘わない労働組合に代わって、闘う労働運動であり学生運動を甦らせ、日本でもゼネストを実現しましょう。

トウジェン（闘争）！！（法大文連委員長・武田雄飛丸）

韓国の超大手左派メディア ハンギョレ新聞に全学連が 紹介されました！

the hankyoreh

新着 ニュース | 政治・社会 | 経済 | 日本・国際 | 文化

「街中が人々で溢れかえるなんて」…キャンドル集会訪れた日本の学生たち

登録: 2016.11.17 01:27 修正: 2016.11.17 08:45

「全学連」のメンバーら12日の民衆総決起に参加
「労組と市民が結合した集会、日本にはない」
「民主主義を実現するためには労働者・民衆が支配者になるべき」

「第3次汎国民大会」が行われた12日の夜、ソウル光化門(クァンファムン)広場が中央舞台に人々の耳目が向けられた集中の現場だったとすれば、光化門と内資洞(ネジャドン)ロータリーの間の道路は、至るところから噴出した声が響き合う多様性の現場だった。その一角に、日本語で「朝鮮半島侵略戦争をやめろ」と書かれた横断幕がはためいていた。「全学連」「全労連」と書かれた旗も見えた。200人ぐらいの人たちは「韓国ゼネストに連帯」などのプラカードを手に持っていた。

なかでも、明るい笑顔で騒いでいた20代とみられる若者たちが、特に目を引いた。ハンギョレの記者だと言うと、歓声が上がった。ある人はスマートフォンでハンギョレ日本語版を開いて、「毎日読んでいる」と話した。電話番号を交換した後、15日、ソウル麻浦区(マボグ)孔徳洞(コンドクドン)のハンギョレ新聞社で彼らと再会した。2、3人ぐらいが来るものと予想していたが、11人も集まっていた。集会に参加した「全学連」のメンバー全員だった。好奇



今年12日、ソウル光化門一帯で開かれた「キャンドル集会」に参加するために韓国を訪れた日本の「全学連」のメンバーが15日午前、ソウル孔徳洞にあるハンギョレ新聞社を訪ねた。キム・ジョンヒョ記者//ハンギョレ新聞社

改憲阻止！ 民主労総ゼネスト連帯！ 京大反戦ストへの無期停学処分撤回！

12・12京大大集会&京都市内デモ

京大キャンパス集会

12月12日(月) 11:50 京大時計台前集合

京都市集会&デモ

12月12日(月) 18:30 三条大橋下集合

<呼びかけ>京大同学会中執

★改憲阻止、あべ閣せ！
★韓国民主労総ゼネスト連帯！
ストライキで朝鮮侵略戦争止めよう！
★京大反戦ストへの
無期停学処分撤回！！

12.12.2016 MON 京大大集会

- 京大キャンパス集会
11:50 京大時計台前集合
12:00 集会開始
12:45 第3回 署名提出行動
12:50 京大キャンパス一周デモ
- 京都市集会&市内デモ
18:30 集会開始 (三条大橋下)
19:30 市内デモ出発

京都大学全学自治会
同学生会中央執行委員会
http://dougakukai.blog.fc2.com/